

令和6年度 学校関係者評価書

<p>鈴鹿市立石薬師小学校</p>		<p>NO. 2</p>		
<p>評価項目</p>	<p>本年度の活動(具体的な手立て)と指標</p>	<p>成果と課題</p>	<p>今後の改善点</p>	<p>学校関係者評価</p>
<p>人権教育・特別支援教育</p>	<p>1 人権教育の推進 ・児童理解のレポート研修、全体研修会 ・人権教育の推進、全校児童の人権意識の向上 →アンケートで検証 2 多様性を認め合う教育 ・特別支援教育の研修、特別支援学級・通級指導教室公開 ・多文化共生教育 →多文化共生の授業を年1回以上実施</p>	<p>1. 人権レポート研修により、教員の人権意識の向上と児童の様子を深く看取ることができている。児童アンケート「いじめをなくそうとしていますか」の肯定割合は1学期：93%、2学期：97%となっている。 2. すべての学年で多文化共生教育の取組を行うことができた。</p>	<p>・悪口や人をからかう場面がなくなったわけではないので、今後も人権教育計画を見直しながら児童の実態に即した教育を進めていく必要がある。</p>	<p>・子どもたちへの人権教育はもちろんの事だが、時々先生や地域住民等に対しびっくりするような言葉を使う場面が見受けられるので、今後も取り組みを継続していく中で、言葉の使い方も今一度考える機会を設けてほしい。 ・これから益々外国籍の子供も増えると思うので、習慣や、生活をお互い知り合う時間が取れたら良いのでは。</p>
<p>生活指導</p>	<p>1 基本的な生活習慣の定着 ・「あすなろ☆」を通年指導(あいさつ、スリッパ、なかよく、廊下歩行、チャイムを守る) ・児童会中心であいさつ運動→アンケート 2 いじめの未然防止、不登校の未然防止 ・自己肯定感の推移 →アンケート「自分にはよいところがあると思いますか。」 積極的肯定割合 R5:56% → 60%以上 ・いじめ防止の意識の向上 →アンケート「いじめをなくそうとしていますか。」 積極的肯定割合 R5:66% → 75%以上 ・スクールカウンセラーを活用した児童支援</p>	<p>1. 「あすなろ☆」の通年指導はできているが、アンケート結果を見ると、あいさつや廊下歩行について、否定的な回答割合が10%以上となっている点が課題である。 2. 「自分にはよいところがあると思いますか」の積極的肯定割合は51%、「いじめをなくそうとしていますか」の積極的肯定割合は73%で、目標とした数値には届いていないが、1学期よりは向上している。</p>	<p>・基本的な生活習慣の定着については、日頃からの声掛けだけでなく、アンケート結果を学校だよりに掲載し、保護者の協力も得ながら進めていきたい。 ・石薬師小学校は来年度に研究発表をすることとなり、鈴鹿市が取り組んでいる非認知能力を取り上げることとしている。その中で「自己肯定感の向上」も図りながら取組を進めていきたい。</p>	<p>・青バト巡回では、手を振ったり、挨拶出来る児童が多く、生活習慣の定着にも繋がっていると思う。 ・みんなが安全に安心して気持ちよく学校生活を送れるように「あすなろ☆」大切にしたい。 ・何事もまずは挨拶からだと思えます。もっと力を入れてもいいのではなか？ ・生活習慣は今後も家庭との連携を図りながら継続をお願いしたい。 ・自分の良いところに気が付けるよう、いいとこさがしなどの取組をすすめてはどうか。 ・いじめをなくそうとしている意識が高くなっているのは嬉しい。</p>
<p>健康・安全・体力向上</p>	<p>1 体力向上 ・体を動かす取組 →体力テスト、スポーツ出前授業の活用 2 交通安全教育・防災防犯教育 ・交通安全教室、避難訓練、引き渡し訓練、防犯教室、モバイル教室 →保護者と連携、事故件数で検証 0件を目指す 3 食育・アレルギー対応 ・食育授業回数 →各学年2回実施 ・職員アレルギー研修 →年間1回以上実施</p>	<p>1. スポーツ出前授業を積極的に行ったことで、運動に前向きに取り組む児童が多くなってきている。 2. 交通安全教室等、予定通り進めることができ、大きな事故もなく過ごすことができた。 3. 栄養教諭による食育授業は予定通り行え、食に関する知識は深まったように思える。職員のアレルギー研修も実施したが、幸い大きなトラブルはなかった。</p>	<p>・石薬師小学校には栄養教諭が常駐していないので、他校から来ていただくこととしているため、早い段階で連絡を取って計画を立て、確実に実施していくことが大切である。 ・校外での事故防止には、子どもたちの意識向上を図りながら、保護者・地域との連携をしっかりと、今後も引き続き見守り活動を続けていく必要がある。</p>	<p>・放課後、外遊びが減っていると聞くので、出前授業を上手く利用して楽しく体を動かしてほしい。 ・スポーツ出前授業を積極的に行なっていることはとても良いことだと思う。 ・安全面では、地域との連携がよくとれていると思う。 ・交通安全教室等で、自転車の安全な乗り方や駐車場では遊ばないなどのルールについて学ぶ機会を継続してもらいたい。 ・昔と比べてアレルギーの子が増えている中、修学旅行など先生達も対応が大変かと思われるが、大きな事故もなく安心している。</p>
<p>教職員の働き方改革</p>	<p>1 会議の時間短縮 ・PC利用促進 →60分以内に終了する会議の割合 R5:84% → 90%以上 2 時間外労働時間の短縮 ・定時退校日の設定 スクールサポートスタッフの有効活用 →時間外労働時間 昨年度比-10%を目指す 3 休暇取得日数 →一人あたりの休暇取得日数平均 昨年度以上を目指す</p>	<p>1. 60分以内に終了する会議の割合は72%で、昨年より時間が伸びている点は課題であるが、その分議題をしっかりと共有することはできている。 23. 時間外労働時間及び休暇取得日数は昨年並みにとどまっている。 来年度の研究発表に向けた取組を進めていくうえで、教材研究等に時間をかけている現状がある。</p>	<p>・職員会議前の二部会等で、議題について精査することや、端末を活用した教育DXを加速させることで、会議時間・時間外労働時間の短縮を図っていく。</p>	<p>・色んな施策で削減効果は出ていると思うが、更に進めてもらいたい。 ・会議の時間短縮が目標達成出来ないのは残念なので、来期は教職員の必須項目として取り組んでほしい。 ・事務的なことは、できるだけDXを活用することで、少しでも子どもたちに向き合う時間を作り出してほしい。</p>